

# 上野前橋の史跡を巡るみち

## 案内マップ



- コース(約8キロ)
- 群馬総社駅
  - 20分 ↓
  - 総社歴史資料館
  - 5分 ↓
  - 宝塔山古墳
  - 2分 ↓
  - 蛇穴山古墳
  - 25分 ↓
  - 山王廃寺
  - 25分 ↓
  - 上野国分寺跡
  - 5分 ↓
  - 妙見茶屋
  - 25分 ↓
  - 上野総社神社
  - 20分 ↓
  - 新前橋駅

群馬県は近畿、北九州とならんで古墳の多い地域です。そのなかでも前橋市は総社地区や大室地区などがあり、特に古墳の密度の高い地域の一つです。  
 ここ群馬総社駅周辺は、二子山古墳、愛宕山古墳、宝塔山古墳、蛇穴山古墳という4つの古墳があり、形式は前方後円墳、円墳、方墳と、バラエティーに富んでいる上、石室はすべて開口して自由に内部を見学することが出来るお勧めの見学コースとなっています。

★総社歴史資料館  
 ■営業時間 午前9時～午後4時まで  
 ■休館日 毎週月曜日 (月曜が祝日の場合は翌日が休館)  
 年末年始

★二子山古墳  
 2段に築造された前方後円墳です。その規模は現状で全長約90m、前方部前幅61m、後円部径44mであり、前方部が大きく張り出しています。埋葬主体は前方部と後円部に各一つずつ横穴式石室が確認されています。石室に使用している石材などから前方部の石室がやや古く、6世紀末期に構築されたものと考えられます。

★宝塔山古墳  
 宝塔山古墳が作られたのは8世紀のはじめ頃(奈良時代初め頃)です。この頃は群馬でも既に仏教寺院が造営されていた時代で、一般的に古墳時代は7世紀までといわれているので、古墳としてはかなり後期のものです。そのせいか、石室などは石材加工の進歩が伺えます。また、石棺の下部に見られる香狭間のような意匠は仏教の影響とされています。

★上野国分寺跡  
 ■営業時間 午前9時30分～午後4時30分  
 ■休館日 年末年始

★蛇穴山古墳  
 上毛野田道(かみつけぬたみち)の墓だという伝説があります。田道は仁徳天皇の時代に新羅征伐で名を上げた人物で、蝦夷との戦いに派遣され現在の宮城県石巻付近で戦死したと伝えられています。その後、蝦夷がこの総社一帯を襲撃し、田道の墓があばかれそうになった時、墓から大蛇現れて毒気を吐き、蝦夷はことごとく倒れて地面は死体で埋め尽くされた...という伝説が残っています。

★石製鴟尾(山王廃寺)  
 鴟尾は主に金堂の屋根の上的一对で据えられていて、火災の時には口から水を噴き出すと信じられている防火のまじないです。現在、唐招提寺金堂や玉虫厨子(たまむしのずし)でその往時の姿を目にすることができます。鴟尾の材質は瓦製が一般的ですが、山王廃寺出土の2個体はきわめて珍しい石製で、ほかには鳥取県の大寺廃寺の1個体が知られているのみです。(出土しているのはこの三体のみ)

山王廃寺跡  
 この辺りは古い養蚕農家が軒をつらねる場所で「かしぐね」が多く見られます

国分寺ガイダンス塔は地元ボランティアがご案内いたします

かしぐね  
 「かしぐね」とは、屋敷を取りまいている背の高い生垣、のこと。ぐねは「久根」と書き隣地との境目、境の垣根の意味があります。空っ風から冬の生活を守るための防風林として、このあたりに多く見られる垣根です。

★国分寺  
 全国を約60の国に分けて治める律令政治の時代に国分寺は建てられました。上野国国分寺は750年頃に主な建物が完成したようで、国分寺全体の中で、最も早い時期に姿が整ったようです。東西約220m、南北約235mの広さを持ち、周囲は築垣(土塀)で囲まれていました。その中央には本尊の釈迦像をまつる金堂と、高さが60.5mもある七重塔が建てられていました。

● さくらホテル

● 天然温泉ゆ〜ゆ  
 ● 上毛倉庫

ゴール